

“日本らしさ”取りもどします。参議院議員(全国区)

えとせいいち

連合後援会報
平成27年5月15日発行
後援会内部資料



14号

ホームページ: www.eto-seiichi.jp

発行 衛藤晟一連合後援会 〒102-0083 千代田区鐘町1-3-5 ダイアン鐘町ビル401号
議員会館 〒100-8762 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1216号
大分事務所 〒870-0042 大分市豊町1-2-6

TEL:03(3511)7727 FAX:03(3511)7728
TEL:03(6550)1216 FAX:03(6551)1216
TEL:09(7534)2015 FAX:09(7534)2449



聖霊で訪れた ウェウケガ(バブアニーギニア)の洋農台英霊碑(左端:安倍総理、右端:衛藤)

衛藤晟一総理補佐官は昨年七月、安倍晋三総理大臣に随行し、ニユージランド、豪州、バブアニーギニアを訪問、盛大な歓迎を受けた。

豪州と親密な関係強化 安倍総理に随行、オセアニア各国訪問

ニユージランドではオセアニアに於ける伝統的な歓迎式と栄誉礼を、豪州ではオーストラリアと三連続の夕食会と五時間以上の移動を経ての嵐山を視察、バブアニーギニアでは栄誉礼に加えて治道での途切れのつかない地元の人々による歓迎を受けた。また、各国が昨年の集約的自衛権等に関する閣議決定への支持を得た。特に豪州とは、日豪防衛整備品の協定を結び、歴史上に残す特別な関係を第一歩となった。

アポト、首相との共同記者会見で安倍総理が「中国が国際規範を共有し、護衛し地域で調和のとれた、律動を期待する」と一言述べると、アポト首相は「一九四五年以来、日本は規範的な国際市民、法の支配を厳格に尊重する国、日本は七十年前の行動で評価されるのではなく、今日の行動で評価されるべき」と述べた。



タラップに立つ一行(左から衛藤、安倍総理、昭恵夫人、加藤官房副長官)

先の大戦で十三万人近くが亡くなれば大津波ウエウケの戦没者の碑への献花や戦没者慰霊碑の除幕式に立ちあつた。普段は人通りの少ない地域にもかがみ多量の地元の人々がかつて訪ねることを歓迎し、話しかけが許容される。これは、元首相、からは「戦前日本本が学校を通じてくれたお礼だ」と、豪州は友人だったが、日本は兄弟だ」と話したことに、衛藤議員は深く感動した様子で、今後とも緊密な関係を強化していくことを約束した。

安倍政権が「日本経済」の再生、アベノミクスに全力を尽くした結果、有知者比率が「二十二年ぶりの高水準になる」というデータが出ました。安倍政権が「日本経済」の再生、アベノミクスに全力を尽くした結果、有知者比率が「二十二年ぶりの高水準になる」というデータが出ました。

聖徳太子
和をもって
貴しとなす

三月、支援対象を全ての男女とし、結婚前から子供が果立するまでの国民の希望を実現するための少子化対策大綱を開き、閣議決定しました。少子化対策の第二幕の始まりです。今年、少子化対策において確実な成果を得られるよう尽力していきます。

政治のこぼれ

衛藤晟一総理補佐官は、安倍内閣には本気で取り組んでいます。少子化は我が国の根幹を揺るがす危機です。平成元年、二十六年の大分市長選挙は自民党推薦の佐藤新一郎氏が初当選しました。自民党は大分県連の会合として、保守中道の政治の下、活力ある地方創生に向けた万全の体制を築くことができました。今年、

対話こそ民主主義の原点

「民主主義の原点は対話だ」と。一市長(おぼろ)に「和をもって貴しとなす」という言葉を引用し、対話こそ民主主義の原点であるとした。市長は「対話こそ民主主義の原点である」と述べ、対話こそ民主主義の原点であるとした。

二十七年予算算成立 後半国会には重要法案

平成二十七年予算算九十九兆千四百二十億八千円が成立した。社会保障費は十年前から五割増え三十一兆円を超え、今後増加が見込まれる。重要法案として、所二面に関連記事。

国民にとって最も大事なこととは、党利党略の「政策」より、走るのではなく「政局」に力を入れるべきことである。労働者による法改正法案は与野党関係なく派閥の安定運用のためには法改正より派遣企業の正社員化などの義務、農業者に対する法的保護を、農業関連の改正法案により農業者の所得を増やす政策改革を進めてまいりませう。

今国会で内閣が提出を予定している主な法律案

(平成27年4月13日現在)

●内閣官房

- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案(仮称)
- 内閣の重要政策に関する総合調整に関する機能強化のための国家行政組織法の一部を改正する法律案(仮称)
- 国の存続を占む国民を守るための切れ目のない安全保障体制の整備関連法律案(仮称)

●内閣府

- 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案(仮称)
- 国家戦略特別法及び構造改革特別区の一部を改正する法律案

●警察庁

- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の一部を改正する法律案
- 道路交通法の一部を改正する法律案

●総務省

- 地方税制法等の一部を改正する法律案

●法務省

- 外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律案(仮称)
- 出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律案
- 刑事訴訟法の一部を改正する法律案

●財務省

- 所得税法の一部を改正する法律案

●文部科学省

- 文部科学省設置法の一部を改正する法律案
- 平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法(仮称)
- 平成31年ラピッドワールドワイド大会特別措置法(仮称)
- 学校教育法の一部を改正する法律案

●厚生労働省

- 戦没者の遺族に対する特別引当金支給法の一部を改正する法律案
- 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律案(仮称)
- 労働者派遣業務の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律案等の一部を改正する法律案(仮称)
- 勤労青年福祉法等の一部を改正する法律案(仮称)
- 社会福祉法等の一部を改正する法律案
- 医療法の一部を改正する法律案
- 労働基準法の一部を改正する法律案
- 確定拠出年金法等の一部を改正する法律案

●農林水産省

- 就農法の一部を改正する法律案
- 農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案

●経済産業省

- 電気事業法等の一部を改正する等の法律案
- 不正競争防止法の一部を改正する法律案

●国土交通省

- 旅客鉄道株式会社及び日本貨物鉄道株式会社に関する法律の一部を改正する法律案

●環境省

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び公害対策企業保護法の一部を改正する法律案(仮称)

●防衛省

- 防衛省設置法等の一部を改正する法律案

障害者の芸術文化の振興を

超党派の国会議員で構成する「2020東京オリンピックパラリンピックに向けた障害者の芸術文化振興議員連」(会長・衛藤晟一参議院議員)の総会が4月17日、参議院議員会館会議室で開かれ、2017年、仏国・ナント市で開催される日本の障害者の芸術展等の説明や意見交換が行われた=写真。

今回の総会には、文化で都市再生を実現した仏国・ナント市の文化政策を牽引する二つの文化施設から、仏文化省国立リリュ・ユニコム館のバトリック・ジエ館長ほか関係者が来日、2017年ナント市で開催予定の日本の障害者の芸術活動を通じた我が国との芸術文化事業について話し合われた。

この事業では、日本の障害者が創作する優れた芸術作品の展覧会(アール・ブリット展)や実演芸術(和太鼓、神楽、ダンス等)、パリアフリー映画の上映、国際交流フォーラム(シンポジウム、講演等)などが計画され、議員連盟が全力でバックアップしている。



2014年 ゆるキャラ1位

全理連の「バーバーくん」

衛藤晟一議員の参議院議員初当選平成19年以來、選対本部長を務める大森利夫さんが理事長の全国理容生活衛生同業組合連合会(全理連)のマスク「バーバーくん」が、2014年の「ゆるキャラ」企業部門の1位に輝いた。

247,246ポイントを獲得、企業-その他部門531体の頂点に輝いた「バーバーくん」は、理容店の回転転をモチーフにしたカラフルでかわいらしい作品。大森理事長は「バーバーくん」は、やる気、勇気、元気をみんなにということと誕生した。1位をいた



だいて感激に堪えません」とコメント。駆けつけた衛藤議員と記念写真を納まっていた=写真。

なお、全理連は衛藤議員を初当選以來支援している。

21テレコム総会に出席

21テレコム会議(高島征二会長・会員約2万人)は4月14日、都内で総会、懇親会を開き、衛藤晟一議員は来賓として出席した。

21テレコム会議は、自民党の優秀支援団体のひとつで、「21世紀を展望し高度化される政治、経済社会に相応しい情報通信の在り方を研究」する団体。先の平成25年の参議院議員選挙では比例代表で衛藤議員を全面的に支援した。

あいさつに立った衛藤議員は、当時のお礼を述べた後、先の衆議院選挙での全面的な自民党への支援に感謝を表し、「情報通信産業は日本と海外の垣根が無くなるものすごい勢いで競争環境が変化している。個人的には2020年の東京オリンピックを見据えNTTグループが世界のフラッグシップになってほしい」と写真、と関係、全面支援を約束した。



社会協議の充実申し込む

衛藤晟一議員は昨年末、財務省に麻生太郎財務大臣を訪ね、少子高齢化のなかでも国民生活に面結する社会保障費に関して十分な予算が確保できるように申し入れを行った=写真。

衛藤議員は現在、自民党の障害児者問題調査会の会長を務め、衆議院議員時代から厚労委員長、厚労副大臣等を歴任するなど、厚労分野で活躍している。



カンパレ!! せいちゃん!!



岩手県創設を打ち破る、農業、医療などの業界団体連合体の保護政策を改める、付いた大森理事長のコメント。これによって、医療費、介護費、福祉費に挙げられなかった、実現している。無か、これはある機会が催され、同時に障害のある人の造形作品が日本の新しい芸術文化の光として開拓されておりました。

芸術文化は、人生を形作る無数の可能性を秘めています。衛藤先生、これからも邁進して、広げたい。衛藤先生。

初当選!!



先に行われた統一地方選挙、四月十七日投票開票で、熱烈な応援を賜った中、私自身も初当選を果たすことができました。おめでとう、カンパレ!!

▽衛藤 晟一 参議院議員
▽衛藤 一穂 参議院議員

川崎市議会議員(中野区選挙区)
▽昭和三十八年五月七日(分党)
▽昭和三十九年五月七日(分党)
▽昭和三十九年五月七日(分党)

大分県議会議員(大分市選挙区)
▽昭和三十九年十一月十日(分党)
▽昭和三十九年十一月十日(分党)
▽昭和三十九年十一月十日(分党)

えとせいじいち



昭和二十一年、大分市生まれ。大分県立平野高等学校卒業。大分県議会議員を経て平成四年、衆議院議員初当選。平成四期、環境大臣官邸長官、厚労委員長、厚労副大臣等歴任。平成十九年の参議院議員選挙比例代表で当選。現在、文部科学省議員、拉致に関する特別調査委員会委員、国土交通省議員、調査会委員、自民党障害児者問題調査会会長、自民党文化振興部連合会会長。

社会福祉法人 愛護会 常務理事 アートディレクター 小林 瑞恵 さん